

モバイルカラーTV

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書および「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

正しい取付け 正しい操作で 安全運転



XTL-75V



警告

安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



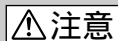
- ① 安全な場所に車を止める
- ② 電源を切る
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



注意
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電



指挟み



破裂

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

主な特長

- 通常のノーマル画面のほか、フル画面、ズーム画面、ワイドズーム画面が楽しめます。
- NAVI/SIMULボタンやTV/VIDEOボタンで見たいソースを映し、モニターをセットできます。
- 本体の電源をOFFにすると、自動的にモニターが収納されます(停車中のみ)。
- モニターの見やすい傾斜角度や前後位置を調節可能。
- 車両のライトと連動したバックライトコントロール方式 DIMMER を採用することで、コントラストの劣化が少なく、色の反転やつぶれのない画像を追求。
- 低反射処理の液晶パネルで外光の反射を低減。
- 画面を消して音声だけを楽しめる消画機能。
- モニター部でテレビの基本操作が可能。
- FMラジオ付カーオーディオでテレビなどの音声が楽しめるFMステレオトランスミッター内蔵。
- ステレオ、ニヶ国語放送(二重音声)が楽しめる音声多重回路内蔵。
- 4本のアンテナから受信状態の良いものを選び、受信する4系統ダイバーシティ回路内蔵。
- 受信できるテレビ放送局を12局まで自動的にメモリーできるオートメモリー機能。
- ナビシステムやビデオ、リアモニターなどが接続できる豊富な入出力端子。
- ナビゲーション画面を映しながら、テレビとナビゲーションの音声を同時に聞くことができるサイマル機能。
- モニターを2台接続し、前席でナビシステムを、後席ではテレビを同時に見ることができるパラレルラインアウト機能。
- ソニーのナビリモコンで選局と音量調節が可能です。(NVX-1と97年度夏以降の発売機種を除く)
- 別売りのソニーのデジタルマップナビシステム(NVX-1を除く)専用RGB入力*端子付。

* RGB入力
プロ用機器に使用されている入力方式。
解像度が高く、地図の細かい線や文字まで鮮明に映します。

目次

△警告・△注意	4
モニターをセット/収納する	6
テレビを見る	8
チャンネルを自動メモリーする (オートメモリー機能)	9
ビデオなどを見る	10
ナビゲーションシステムの画面を見る	11
ワイド画面で見る	12
ナビゲーションシステムの画面を 映しながらテレビやビデオの音声を聞く (サイマル機能)	14
カーオーディオで音声を聞く (FMステレオトランスミッター)	15

音声を切り換える	16
画面を消して音声だけを聞く (消画機能)	17
画質を調整する	18
画面の明るさを調整する (ブライトコントロール機能)	19

付録

各部の名称	20
使用上のご注意	22
故障かな?と思ったら	25
保証書とアフターサービス	26
主な仕様	27

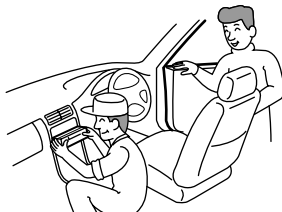


下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の実取り付けには専門知識が必要です。

万一、ご自分で取り付けるときは、別冊の「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。



内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



禁止

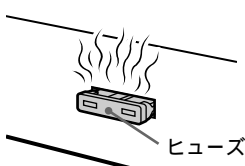


規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記載された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を越えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



禁止

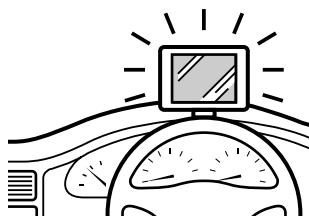


前方の視界を妨げる場所に、ディスプレイやモニターを取り付けない

前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。また、取り付ける場所が、助手席用エアバッグシステムの動作の妨げにならないことを確認してください。



禁止



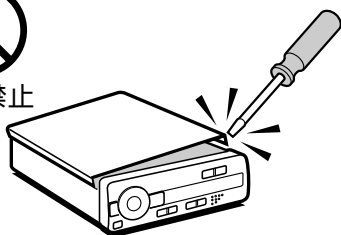
分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となることがあります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止

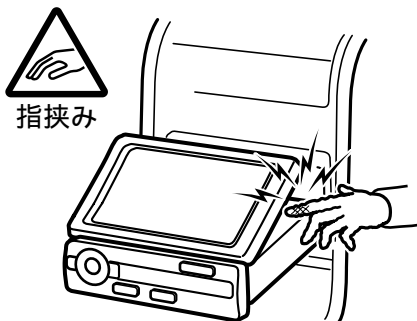


⚠ 注意

下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

モニターの設定中および収納中は、
手を近づけない

手を挟まれ、けがの原因となることがあります。



雷が鳴りだしたらアンテナ線やテレビ
には触れない

感電の原因となります。

モニターをセット / 収納する

走行中はモニターのセット / 収納はできません。
必ずパーキングブレーキを引いてから操作してください。

モニターをセットするには

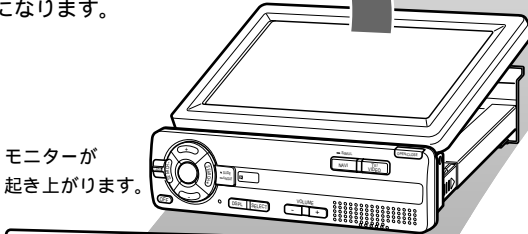
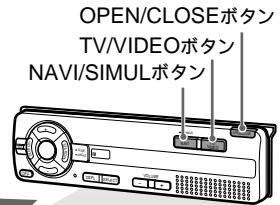
OPEN/CLOSEボタンを押す。

モニターが自動的にセットされ、最後に見ていたソースの映像になります。

すぐに映像を映したいときは

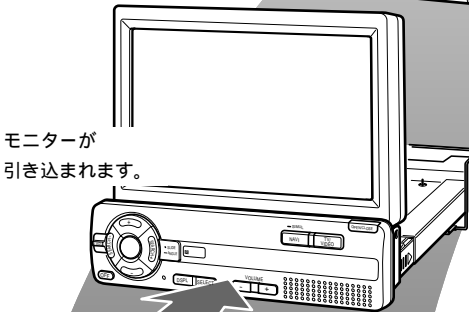
NAVI/SIMULボタンまたはTV/VIDEOボタンを押す。

モニターが自動的にセットされ、ナビまたはテレビ / ビデオの映像になります。



開閉時のご注意

- ・シフトレバーなどに当たってモニターの動作が止まったときは、障害物を取り去ってからOPEN/CLOSEボタンを押してください。電源がOFFのときは電源を入れてからOPEN/CLOSEボタンを押してください。
- ・警告音が鳴ってV OFFインジケーターが点滅して止まったままのときは、リセットボタンを押してください。
(20ページ)



モニターを収納するには

OFFボタンを押す。

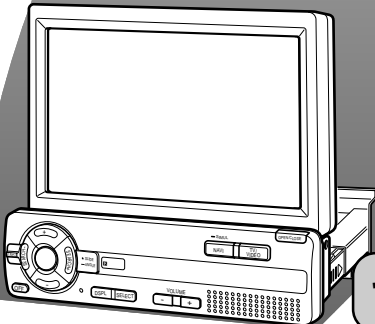
モニターが収納され、電源が切れます。

OPEN/CLOSEボタンを押す。

映像が消画してモニターが収納され、聞いていた音声のみ聞くことができます。

ご注意

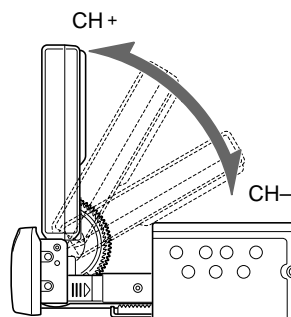
- ・テレビやビデオ、ナビ画面中の時に収納すると、モニターは消画され音声のみ聞くことができます。また、収納されると働かないボタンがあります。
- ・走行中はモニターのセット / 収納はできません。
- ・モニター収納時はリモコンでは操作できません。
- ・車のイグニッションキーをOFFにしてから約10秒間(ピツと音がするまで)はOPEN/CLOSEボタンが機能しますので、モニターの収納ができます。



モニターの傾斜角度を調整するには

モニターが見づらいときにモニターの傾斜角度を8段階(48°~96°)で調整することができます。
走行中に調整はできません。

- 1 SLIDE/ANGLEボタンを2秒以上押す。
「ピッ」と音がして、モニターが手前に出て調整モードになります。
- 2 CH +/- ボタンを何度か押して、角度を調整する。
CH + : モニターが起き上がる。
CH - : モニターが傾斜する。
- 3 SLIDE/ANGLEボタンを押す。

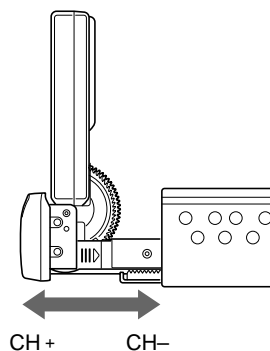


モニターの水平位置を調整するには

モニターを傾斜させたときに、モニターがダッシュボード等などに接触しないようにモニターの水平位置を15段階(35mm~90mm)で調整することができます。

上記の傾斜角度の調整を先に行ってから水平位置を調整してください。水平位置の調整を先に行くとダッシュボードに当たることがあります。また、走行中に調整はできません。

- 1 SLIDE/ANGLEボタンを押す。
「ピッ」と音がして、調整モードになります。
- 2 CH +/- ボタンを何度か押して、位置を調整する。
CH + : モニターが手前に出る。
CH - : モニターが奥へ引き込む。
- 3 SLIDE/ANGLEボタンを押す。

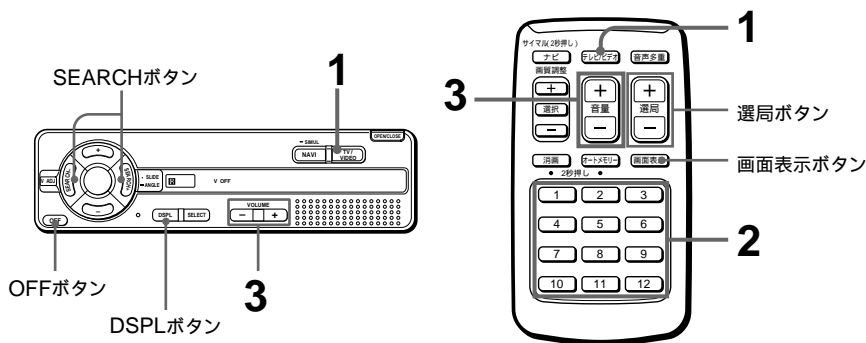


ご注意

- モニターをセットすると、調整した傾斜角度と水平位置になります。調整し直したいときは、もう一度上記の操作をしてください。
- 本機の電源がOFFのときに手で無理に傾斜角度や水平位置を変えると故障の原因になります。
- シフトレバーなどに当たってモニターの動作が止まったときは、障害物を取り去ってからOPEN/CLOSEボタンを押してください。
- 警告音が鳴ってV OFFインジケーターが点滅して止まったままのときは、リセットボタンを押してください。

テレビを見る

お買い上げ時には、VHF放送の1～12チャンネルがダイレクト選局ボタンの数字どおりに映るように設定されています。



- 1** テレビ/ビデオボタンを押して、TVを選ぶ。
モニターがセットされます。
- 2** 見たいチャンネルのダイレクト選局ボタンを押す。
画面の右上に、受信中のチャンネルが約5秒間表示されます。
- 3** 内蔵スピーカーの音量を調節する。

ご注意
走行中は安全のためテレビ画面は映りません。

チャンネル番号を画面に表示するには

画面表示ボタンまたは本体のDSPLボタンを押します。
もう一度押すと表示は消えます。

テレビを消すには

本体のOFFボタンを押します。
もう一度テレビを見るときは、テレビ/ビデオボタンを押します。

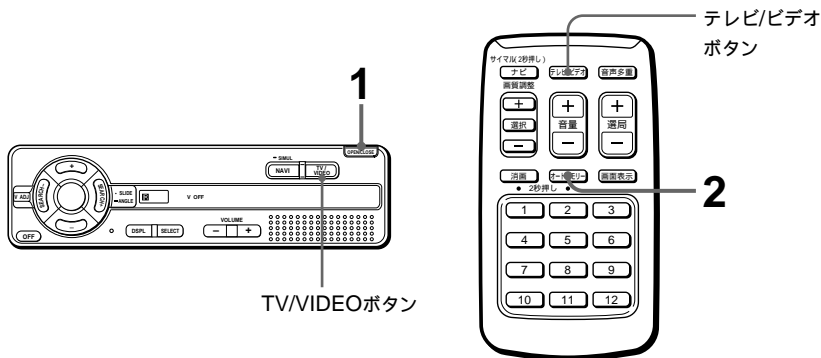
旅先などでメモリーしたチャンネルが受信できないとき

選局ボタンまたは本体のSERCHボタンを短く押して離します。
受信できる放送局を自動的に探し始め、受信すると止まります。見たいテレビ局が受信できるまでボタンを繰り返し押します。

ワイド画面で見たいときは、本体のSELECTボタンを押します。くわしくは10ページをご覧ください。

チャンネルを自動メモリーする (オートメモリー機能)

VHF/UHF放送が合わせて12チャンネルまでメモリーできます。VHF放送の1～12チャンネルが、ダイレクト選局ボタンの数字どおりにメモリーされます。VHF放送のチャンネルがメモリーされていないボタンに、UHF放送の13～62チャンネルが順番にメモリーされます。



- 1** モニターがセットされていないときは、本体のOPEN/CLOSEボタンを押す。

モニターがセットされます。

画面の表示が「VIDEO1」「VIDEO2」または「NAVI」の時は、テレビ/ビデオボタンを押して、テレビにします。（「VIDEO1」「VIDEO2」または「NAVI」の表示が消え、テレビ画面になります。）

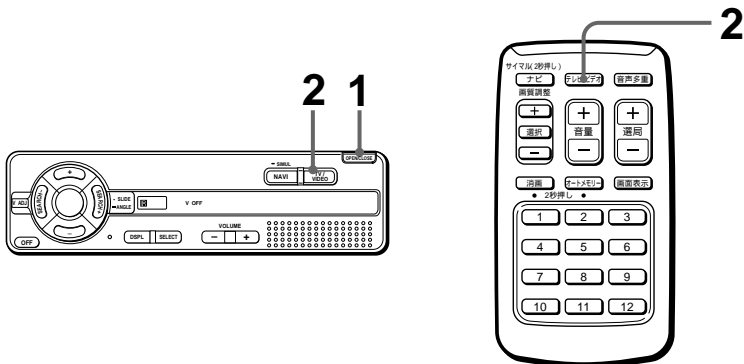
- 2** オートメモリーボタンを2秒以上押す。

オートメモリーの動作中は、画面の右上に受信したチャンネルが順番に表示されます。

ビデオなどを見る

TVチューナーユニットに接続しているとき

接続についてくわしくは別冊の「取り付けと接続」をご覧ください。



- 1** モニターがセットされていないときは、本体のOPEN/CLOSEボタンを押す。

モニターがセットされます。

- 2** TV/VIDEOボタンを押して、ビデオにする。

TV(チャンネル表示)→「VIDEO1」→「VIDEO2」の順に切り換わります。「VIDEO1」または「VIDEO2」に切り換えてください。

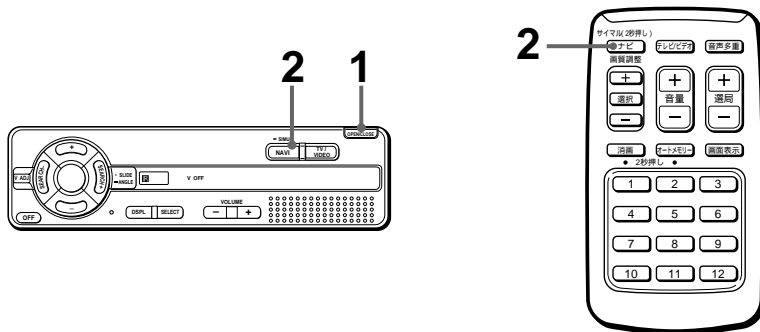
- 3** 接続したビデオ機器の電源を入れ、再生する。

ご注意

走行中は安全のためビデオ画面は映りません。

ナビゲーションシステムの画面を見る

ナビゲーションシステムを接続している場合にナビ画面切り換えボタンを短く押すと、ナビの画面に切り換わります。このとき、画面に約5秒間「NAVI」と表示されます。ナビゲーションの画面は走行中でも映ります。



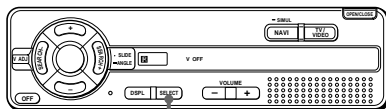
- 1** モニターがセットされていないときは、本体のOPEN/CLOSEボタンを押す。
モニターがセットされます。
- 2** ナビボタンを短く押す。

ご注意

ナビゲーションの操作は、ナビゲーションシステム側のリモコンで行なってください。

ワイド画面で見る

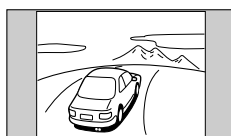
画像に応じて最適な映しかたでご覧になれます。通常のノーマル画面サイズ(4:3)のほかワイド(全表示画面)、ズーム画面、ワイドズーム画面に切り換えられます。



SELECTボタン

本体のSELECTボタンを押す。

押すごとに次のように画面サイズが切り換わります。



ノーマル(通常)
横縦比4:3の映像(通常の画像)



フル
横縦比4:3の映像を左右に合わせて拡大した映像。



ズーム*
横縦比4:3の映像を左右に合わせて拡大し、画面に収まるように上下のはみ出た部分をカットした映像。



ワイドズーム*
横縦比4:3の映像を左右周辺だけ拡大し、画面いっぱいにした映像。

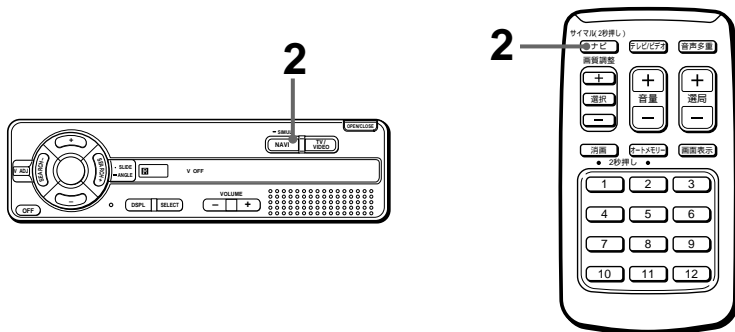
ご注意

- この操作は
 - リモコンは使えません。
 - 画面サイズの種類は表示されません。
- 本機は各種の画面サイズ切り換え機能を備えています。テレビ番組などソフトの映像比率と異なる画面サイズを選択されると、オリジナルの映像とは見え方に差ができます。この点にご留意の上、画面サイズをお選びください。
- 本機を営利目的または公衆に視聴させることを目的として、画面サイズ切り換え機能等を利用して画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意願います。

- ワイド映像でない従来の4：3の映像をズームおよびワイドズームを利用して画面いっぱいに表示してご覧になると周辺画像が一部見えなくなったり変形して見えることがあります。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像はノーマルでご覧になれます。
- ズームでご覧になると、画像が粗くなります。
- 家庭用のワイドテレビとはワイドズームの仕様が異なります。
- 画面モードを換えるとナビシステムの地図画面の縮尺も変化しますのでご注意ください。

ナビゲーションシステムの画面を映しながら テレビやビデオの音声を聞く(サイマル機能)

ナビゲーションシステムの画面を映しながら、テレビの音声を同時に聞くことができます。
サイマル機能が動作中でも、ナビゲーションの音声は聞こえます。



1 テレビまたはビデオの画像を映す。

2 ナビボタンを2秒以上押す。

ナビゲーション画面が映りますが、音声は表示されているテレビのチャンネルまたはビデオの音声になります。

後席用モニターを接続した場合、前席でナビ画面を映しながら、後席用モニターでテレビやビデオを見ることができます。(パラレルラインアウト機能)
なお、安全のため後席用モニターは絶対に前席には取り付けしないでください。
(パラレルラインアウト機能をお使いになるときの接続については、「取り付けと接続」をご覧ください。)

他のチャンネルの音声を聞きたいとき

ダイレクト選局ボタンまたは選局ボタンを押してチャンネルを変えてください。

サイマル機能を解除するとき(テレビやビデオの音声を消す)

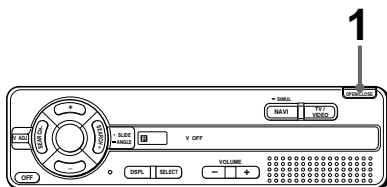
ナビボタンを2秒以上押します。

テレビやビデオの画面にするとき

テレビ/ビデオボタンを押します。

カーオーディオで音声を聞く (FMステレオトランスミッター)

テレビの音声をFM電波で飛ばして、FMチューナーで聞くことができます。



- 1** モニターがセットされていないときは、本体のOPEN/CLOSEボタンを押す。

モニターがセットされます。

- 2** FMチューナーの電源を入れる。

- 3** 周波数を合わせる。

TVチューナーを接続するときに設定した周波数(76.7MHzまたは78.7MHz)に合わせます。(くわしくは「取り付けと接続」をご覧ください。)

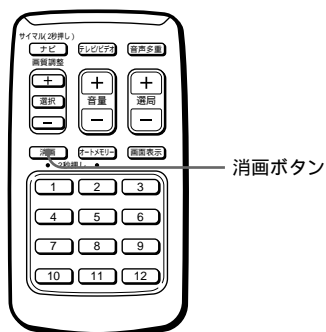
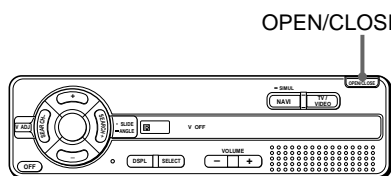
音量を調節するとき

モニターの音量を小さめにしておき、カーオーディオ側で音量を調節します。
(モニターからも同時に音声が出力されています。)

ご注意

- 設定した周波数がFM放送と混信するときは、TVチューナーの周波数切り換えスイッチを切り換えてください。
- カーオーディオのサーチモードでFM放送の周波数を合わせると、設定した周波数で止まらないことがあります。この場合は、マニュアルで合わせてください。

画面を消して音声だけを聞く（消画機能）



モニターをセットしたまま聞くには

消画ボタンを2秒以上押す。

「V OFF」インジケーターが点灯します。

今見ていた画面(バックライト)が消え、音声だけが聞こえます。

モニターを収納して聞くには

本体のOPEN/CLOSEボタンを押す。

「V OFF」インジケーターが点灯します。

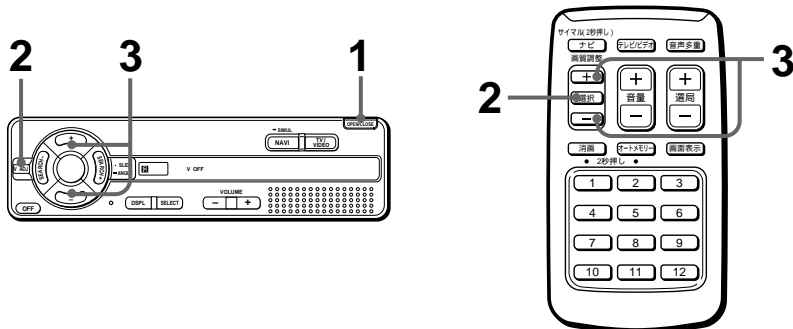
解除するには

同じボタン操作をもう一度するか他のボタンを押す。

再び画像が映ります。消画状態は電源を切ったり、イグニッションキーをOFFにすると解除されます。

画質を調整する

周囲の明るさや見る位置に合わせて、画面の色の濃さ、色合い、明るさ、視野角を調整し、見やすくすることができます。



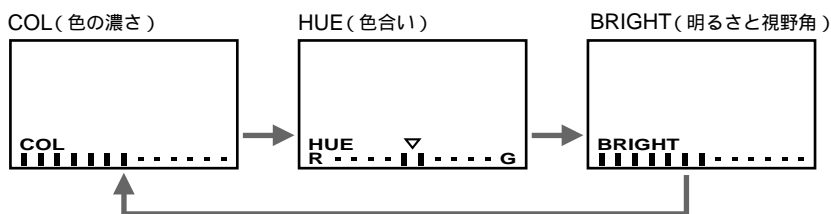
1 モニターがセットされていないときは、本体のOPEN/CLOSEボタンを押す。

モニターがセットされます。

2 画質調整の選択ボタンを押す。

画質調整の選択ボタンを押すごとに調整内容が下記の順に切り換わりま

す。



ソニーデジタルマップナビシステムの画面では、BRIGHT(明るさと視野角)のみ調整できます。

3 画質調整の+/-ボタンを押して調整する。

5秒以内にボタンを押してください。5秒を過ぎると元の画面に戻りま

	COL	HUE	BRIGHT
+側	濃くなる	緑がかる	明るくなる
	↑↓	↑↓	↑↓
-側	薄くなる	赤みがかる	暗くなる

画質を調整する(つづき)

BRIGHT(明るさと視野角)の調整について

モニターの取り付け位置によって画面の明暗が反転したり、白く見えたりすることがあります。そのときは、+、- ボタンで調整してください。

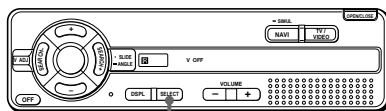
リモコンの選択(画質調整)ボタンを2秒以上押すと、画面に「VISUAL STD」が表示され、すべての調整項目が標準状態(出荷状態)になります。

ご注意

車のライトをオンにしているときは、本機は自動的に減光されます。

操作ボタンの照明色を変える

車のイルミネーション照明に合わせて本機の操作ボタンの照明を変えることができます。



SELECTボタン

本体のSELECTボタンを2秒以上押す。

押すごとにアンバー ↔ グリーンに切り換わります。

ご注意

この操作は、リモコンではできません。

各部の名称

モニター

スライド / アングル
SLIDE/ANGLE

(モニター位置 /
角度調整) ボタン

サーチ プラス
SEARCH +
(選局) ボタン

プラス
+ ボタン

サーチ マイナス
SEARCH -
(選局) ボタン

ビジュアルアジャスト
V ADJ (画質調
整) ボタン

オフ
OFF (電源切)
ボタン

マイナス
- ボタン

リセットボタン

リモコン受光部

インジケーター

ナビゲーション / サイマル
NAVI/SIMUL (ナビ映像切
り換え / サイマルプレイ) ボ
タン*

テレビ / ビデオ
TV/VIDEO (テレビ / ビデ
オ1 / ビデオ2映像切り換え)

ボタン

オープン / クローズ
OPEN/CLOSE (モニター
セット / 収納) ボタン

内蔵スピーカー

ボリューム
VOLUME (音量調節) ボタン

セレクト
SELECT (ワイド画面モー
ド / ボタンの照明色切り換え)
ボタン

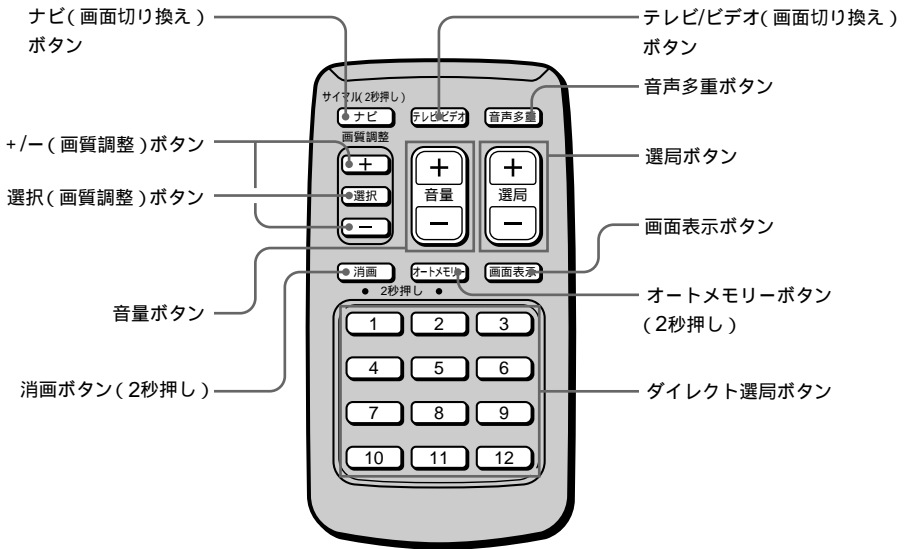
ディスプレイ
DSPL (テレビチャンネル表
示) ボタン

* スピーカーからの音声はモノラルです。

リセットボタンを次のようなときに押してください。

- モニターのセット / 収納中、障害物により動作が停止したとき
- 車のバッテリーを交換したとき

リモコン



使用上のご注意

プラスチック部品について

モニターやリモコンなどのプラスチック部品に、殺虫剤やヘアスプレーをかけたり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品を長時間接触させないでください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

異物について

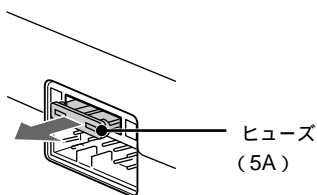
内部に液体をこぼしたり、燃えやすいものや金属類を落とさないでください。そのままご使用になると火災や感電、故障、事故の原因となります。

ヒューズの交換について

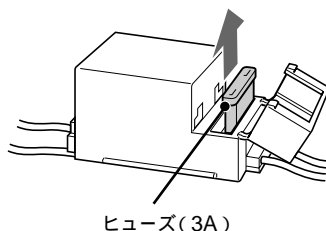
ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。

ヒューズ交換などの修理をご依頼のときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口へご持参ください。

本体(背面)



TVチューナーユニット(赤色コード)



無線機や携帯電話について

本機の近くで無線機や携帯電話を使用すると、画像が乱れることがあります。本機から遠ざけるか、使用をやめてください。

本機を別の車に載せ換えたときは

モニターの傾斜角度と水平位置が取り外した車の状態になっており、これから取り付ける車には合わないことがあります。このときは、フロントパネルにあるOPEN/CLOSEボタンを押しながらリセットボタンを押した後、傾斜角度と水平位置の調整(7ページ)を行ってください。

液晶パネルについて

- 長時間お使いにならないときや直射日光の当たるところに車を駐車するときは、モニターを収納してください。
- 液晶パネルの前面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- お手入れについては、次のことにご注意ください。
 - 液晶パネルについたほこりやゴミ、指紋などは柔らかい布でふきとってください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を布に含ませてふきとってください。
 - ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。
 - 静電気防止剤なども、逆に液晶パネルを傷めることがありますので使用しないでください。
- 寒いところでご使用になる場合、内部照明装置(バックライト)が暗くなりますが、車内の温度が上がるとともに戻ります。
- 温度が5℃以下または45℃以上のところではご使用にならないでください。
- かなりの低温または高温になると映りが悪くなるがありますが、故障ではありません。常温に戻ると回復します。

モニター画面の同じ場所に、青い点や赤い点などが現われることがあります。このような現象を輝点といいます。液晶パネルの性質上発生するものです。

液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。また、電源を切ったときに数秒間画面に乱れが出ることがあります。あらかじめご了承ください。いずれの場合もお使いになる上で支障はありません。

事故防止のために

テレビ/ビデオ画面は、車を止めて、パーキングブレーキを引いてあるときのみ映ります。パーキングブレーキを戻すと、安全のため下のような画面を約5秒間表示した後、自動的にテレビ/ビデオ画面を消し、音声のみとなります。

PICTURE OFF
FOR
YOUR SAFETY

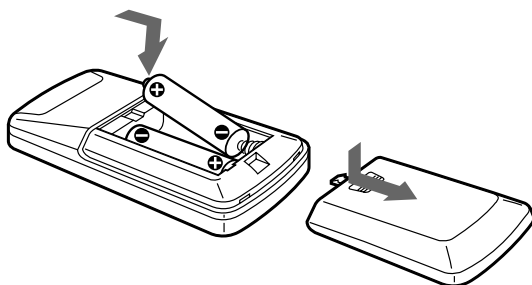
運転をしながら、チューナーユニットに接続されている機器を操作したり、モニターの画面を見たりしないでください。事故につながるおそれがあり、危険です。

使用上のご注意(つづき)

リモコンについて

電池の入れかた

単3乾電池2本を⊕⊖を正しく入れる。



電池の交換時期は？

ふつうの使いかたで約6か月もちます。

電池が消耗するとボタンを押しても操作できないことがあります。

電池についての安全上のご注意

液漏れ、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。



- 火の中に入れてない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 乾電池は充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。



- +と-の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったときや長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

もし電池の液漏れが起こったときは、電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

リモコンについてのご注意

- ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の当たるところにリモコンを放置しないでください。熱により、リモコンが変形するおそれがあります。(特に夏季の直射日光の当たるダッシュボードの上はかなりの高温になりますのでご注意ください。)
- 直射日光の当たるところに車を駐車するときは、リモコンをグローブボックスの中など直射日光の当たらないところに保管してください。

故障かな？と思ったら

症状	原因(および処置)
画像、音がまったく出ない。	<ul style="list-style-type: none">・電源コードが外れているまたはしっかり接続されていない。・テレビ/ビデオ画面切り換えボタンを押す。
音は出るが、画像が出ない。	<ul style="list-style-type: none">・消画機能が働いている。 →消画ボタンを押す。・テレビまたはビデオ画面で走行している。 →走行中は安全のため画面は映りません。
画像は出るが音が出ない。	リモコンの音量ボタンの+を押す。フロントパネルのVOLUMEボタンで音量を上げる。
はん点や点模様が走る。	アンテナはなるべく雑音源(エンジン、バイクなど)から離してください。
画像がぶれる。	アンテナ線が外れかかっていたり、山やビルで反射した電波がアンテナに飛び込む場合は、画像がぶれることがあります。
接続した機器の画像や音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">・接続コードが外れている、またはしっかり接続されていない。・テレビ/ビデオ画面切り換えボタンを押す。
ダイレクト選局ボタンを押してもチャンネルが選べない、またはテレビが映らない。	<ul style="list-style-type: none">・ビデオまたはナビゲーションモードになっている。 →テレビ/ビデオ画面切り換えボタンを押して、テレビモードにする。・リモコンの乾電池が消耗している。・放送局がメモリーされていないボタンを押している。
FMチューナーで音声がかえらない	<ul style="list-style-type: none">・FMトランスミッターアンテナを取り付ける。・TVチューナーで設定した周波数と合っていない。 →設定した周波数に合わせます。
リモコンのボタンを押しても反応がない。	リモコンの乾電池が消耗している。
モニターの設定や収納、位置・角度調整ができない	<ul style="list-style-type: none">・走行している。→安全のため走行中できません。・障害物がある。→障害物を取り除き、OPEN/CLOSEボタンを押します。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口へご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。くわしくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

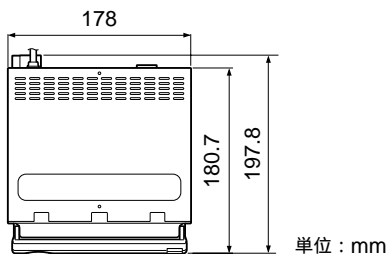
部品保有期間について

当社では本製品の保証用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、ソニーサービス窓口にご相談ください。

主な仕様

モニター

種類	ワイド液晶カラーモニター
表示方式	透過型TN液晶パネル
駆動方式	TFTアクティブマトリックス方式
画面の大きさ	6.5型, 142.6 × 80.8 mm、165 mm (幅 × 高さ、対角線径)
画素数	336,960画素(縦234 × 横1440)
スピーカー	35 × 20cm ダイナミックスピーカー × 1
電源	DC12 V
消費電流	約1.0 A
外形寸法	178 × 50 × 180.7 mm(幅 × 高さ × 奥行き)最大突起部含まず



使用温度範囲	+5 ~ +45
保存温度範囲	-20 ~ +80
質量	約2 kg

TVチューナーユニット

受信方法	NTSC方式
受信チャンネル	1CH~12CH(VHF) 13CH~62CH(UHF) (TVステレオ、音声多重)
電源	DC 12Vカーバッテリー
消費電流	約0.5 A
出力端子	映像出力: RCAピンジャック 1 Vp-p、75 Ω 音声出力: RCAピンジャック -10 dBs、 10 kΩ トランスミッターアンテナ出力: RCAピンジャック モニター出力: 16ピン角型(専用)

入力端子	映像入力(2系統): RCAピンジャック 1 Vp-p、75 Ω 音声入力(2系統): RCAピンジャック -10 dBs、 10 kΩ アンテナ入力(4系統): ミニジャック ナビ入力: 16ピン角型(専用) RCAピンジャック 映像 1 Vp-p、75 Ω 音声(モノラル) -10 dBs、 10 kΩ
外形寸法	202 × 30 × 140 mm (幅 × 高さ × 奥行き) 最大突起部含まず
質量	約750 g

ワイヤレスリモコン

電源	単3乾電池 × 2
操作距離	約3 m(正面)
外形寸法	62 × 25 × 115 mm (幅 × 高さ × 奥行き) 最大突起部含まず
質量	約100 g 電池を含む

付属品

ワイヤレスリモコン(1)
単3乾電池(2)
取り付け/接続部品(一式)
取扱説明書(一式)
ソニーご相談窓口のご案内(1)
保証書(1)

別売り品

モービルTVアンテナ VCA-110
ナビ用接続コード RC-300(3 m、
16ピン角形ジャックの97年度夏以前
の発売機種用、NVX-1を除く)
ナビ用接続コード RC-303(3 m、
20ピン角形ジャックの97年度秋以降
の発売機種用)
モニター延長コード RC-116M
(4 m)
トランク取付キット RC-550MP
電源接続コード RC-118P(5.5 m)

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更
することがありますが、ご了承ください。

ソニー株式会社

〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

● ナビダイヤル…………… 0570-00-3311

(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)

● 携帯電話・PHSでのご利用は… 03-5448-3311

● Fax…………… 0466-31-2595

受付時間:月～金 9:00～20:00、土・日・祝日 9:00～17:00



* 1 - 3 - 8 6 5 - 3 5 0 - 0 2 * (3)